○現行制度の改善又は拡充を求めるもの（拡充を求めるもの）

区分	■ 新　規　　□ 再提案　（　・　・　第　　回総会；　　市）		
種類	■ 現行制度の改善又は拡充を求めるもの □ 新たな施策の要望又は提案を求めるもの □ 特に市町村への財政支援策等を求めるもの □ その他（　　）	分野	■ 総務文教 □ 社会環境 □ 経済 □ 建設
要望先	□ 国	担当省庁	
	■ 県	担当部局	教育委員会事務局
	□ その他	名　　称	

件名	**６　特別な支援が必要な児童生徒に対応する支援員の県費による加配の実施について**
提案市	安曇野市
提案要旨	今年度、市費で負担している加配の支援員（特別支援学級補助員、障害児介助支援員、少人数学習等支援員、中間教室適応指導員、医療支援員）は65名である。 各小中学校の実情から、支援員等の配置は必要であると考えているが、市の予算も限られているため、県費での加配を要望する。
提案理由	市内小中学校には、発達障害等により教室を飛び出してしまうなど、常に注意を払わなくてはならない児童生徒が増加すると共に、介助を要したり、医療支援を受けながらも、地元の学校で学びたいという思いを強く持つ保護者や児童生徒も多い。本市としても市費での対応は最大限に努力しているもののすでに限界である。
現況及び課題等	○特別な支援を要する児童生徒に対応する職員の要望数及び実配置数 H26年度要望人数：　93名　　⇒実配置職員数：62名 H27年度要望人数：101名（8名増）⇒実配置職員数：65名（3名増） ○課題等 今後も特別な支援等が必要となる児童生徒数の増加が見込まれ、職員配置の要望人数も増えることが予想される。市としても実配置職員数の確保及び増員について努力しているが、個々に応じた支援を継続していくためにも、県費での加配の実施を要望したい。
関係法令	